

| | | | | |
|-----------|----|-----|----|-------|
| 看護学部／看護学科 | 職名 | 准教授 | 氏名 | 山田 美幸 |
|-----------|----|-----|----|-------|

1. 教員紹介・主な研究分野

看護師として大学病院にて脳神経外科・眼科、皮膚科、血液・消化器内科に勤務した後、大学の教員になりました。その間、看護学修士を修得し、熊本大学大学院 保健学教育部保健学専攻博士後期課程を単位取得後退学しました。教員としてはこれまで「基礎看護学」を担当して来ましたが、令和 5 年度福岡県立大学に着任し、主として「看護の統合と実践」の科目を担当しています。これまで得た経験を 3・4 年生の教育にどのように繋いで深化させていくか、常に問いながら教育をしていきたいと考えています。

研究については、これまでに「特別養護老人ホームのターミナルケア」「子どもの入院に付き添い家族」「新卒看護師の離職防止に向けた支援」「独居高齢者の介護予防」「看護学生のリフレクション」に関する研究をしてきました。現在は「児童虐待防止の支援策」に関する研究を行っています。

2. 研究業績

① 最近の著書・論文

- ・ 小湊博美, 協園幸恵, 山田美幸, 山下里奈, 有松操 (2021): 学内実習「発達援助実践」の教育効果に関する考察, 鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要, 25 巻, p47-60.

② その他最近の業績

<学会発表>

- ・ 前原宏美, 山田美幸 (2022): 精神科看護師の行動制限における倫理的問題に関する文献的検討, 第 17 回医療の質・安全学会学術集会 (神戸: オンデマンド)
- ・ 前原宏美, 山田美幸, 米元富貴代, 倉成由美 (2020): 精神看護学実習における看護学生と対象者の援助的関係形成に関する研究, 日本看護学教育学会第 30 回学術集会 (オンライン)

③ 過去の主要業績

<論文>

- ・ 山田美幸, 津田紀子, 前田ひとみ (2015): 看護学生が臨地実習におけるケアリング体験の意味を構築する過程, 日本看護教育学会誌, 第 22 巻第 3 号, p.1~12.
- ・ 岩本テルヨ, 山田美幸, 加瀬田暢子 (2009): 特別養護老人ホーム在所者の最後の場の決定に関わる現状と課題—全国調査を通して—, 山口県立大学学術情報, 第 2 号, p8~14.
- ・ 山田美幸, 前田ひとみ, 津田紀子, 串間秀子 (2008) 新卒看護師の離職防止に向けた支援の検討—就職 3 か月の悩みと 6 か月の困ったことの分析—, 南九州看護研究誌, 第 6 巻 1 号, p47~54.

3. 外部研究資金

科学研究費助成事業（基金分）基盤研究（C）令和2年～5年，交付金額 4,160 千円，研究課題：発達障害の補償要因の強化を図るための児童虐待防止の支援策の策定（研究分担者）

4. 受賞

5. 所属学会

日本看護科学学会、日本看護研究学会、日本看護学教育学会

6. 担当授業科目

基礎看護学実習Ⅰ・1単位・1年・前期，基礎看護学実習Ⅱ・2単位・2年・通年，看護倫理学・1単位・2年・前期，看護研究（新カリキュラム）・2単位・2年・後期，専門看護学ゼミ・2単位・3年・通年，看護実践論・1単位・3年・前期，看護研究・2単位・3年・前期，統合実習・2単位・4年・通年

7. 社会貢献活動

8. 学外講義・講演

- ・ 出前講義 鹿児島県立松陽高等学校「演習を通して学ぶ看護リフレクション」

9. 附属研究所の活動等